

1995年 9月12日

送  
り  
先

MB (北陸) システム営業課 御中	丸善 (北陸) 営業課 御中	陸支 営業企画部	陸支 公共ビルシステム部
七宝 システム事業部 御中	NES 情報システム課 御中	(富山) 電力部	(金沢) 半導体・電子デバイス部
JMC 営業課 御中	北菱 情報機器課 御中	FAシステム部	FAシステム部
エム・アイ・エス 御中	MCC (北陸支所) 御中	公共ビルシステム部	電子・情報通信部
陸支 (富山) コ課			

# 陸支コ課情報

No. 41

## 内容

- ・最新リムーバブルメディア 第5回
- ・情報誌トピックス —情報誌は発行責任者保管
  - 日経コンピュータ 9月4日号
  - 日経パソコン 9月11日号
  - 日経エレクトロニクス 9月4日、9月11日号
  - 日経バイト 9月号
  - DOS/V magazine 9月15日号
  - PC WAVE 10月号
  - ASCII DOS/V 10月号
  - LAN TIMES 10月号

ソフトウェアはSRCへ！  
キャンペーンも随時実施中  
詳しくはSRCニュースを

## 発行責任者

三菱電機株式会社 北陸支社  
電子・情報通信部 コンピュータ課  
稲崎義明

## 5. PD

いま、注目を浴びているのが松下電器のPD/CD-ROMドライブです。PDはマルチ対応のドライブで、650MBの書き換え可能な光磁気ディスクである「PD」とこれまでのCD-ROMの両方が取り扱うことができるようになっていきます。PDのディスクはMOのように四角いカートリッジに納められています。このカートリッジは124×135×7.8で、シャッターが付いています。外見は以前からある5.25インチのMOにそっくりで、PDドライブにあるトレーにのせて使います。このトレーは二重底になっていて、CD-ROMを使う場合には自動的にその二重底が持ち上がってきて高さを調整するようになっていきます。

PDの記録方式はMOとは異なり相変化という記録方式を採用しています。相変化方式は記録相に特殊な合金を用い、その合金を加熱することによって結晶状態とアモルファス状態（非結晶）を作り出しています。この場合、結晶状態では反射率が高く、アモルファス状態では反射率が低くなるためデータを書き込むことができます。具体的にいうと、この合金は600℃に加熱すると溶融し、その後急冷することによってアモルファス（非結晶固体）となります。これを400℃に加熱すれば再び結晶状態になります。このような処理をレーザ光線によって温度管理し、アモルファスと結晶という2相の変化を利用したのが相変化方式です。つまり、書込み消去をレーザ光線の出力（書込み時はレーザ光線の出力を高くして温度を高くし、消去時は出力を低くし、読み込みを行う場合はさらに出力を低くして行います）によってのみ行っているため、磁気制御が必要なくなります。また、PDの場合はこのような方式のため記録密度を容易に上げることができる面があります。

PDの読み込み速度は、CD-ROMの場合4倍速相当ですが、PDの場合はCD-ROMの6倍速相当以上の能力があります。また、書込み速度は128MBのMOの2倍程度であり、IDEの転送速度の半分とかなりのパフォーマンスを示しています。

このようにPDは今春のビジネスショーでも松下電器のメイン展示となっていました。普及についてははっきりしたことがいえないのが現状です。これは、PDが松下電器の単独の仕様であり、今後追従するメーカーが出てくるかが不明な点にあります。たしかに、松下以外にもパソコン用の内蔵用、外部据え付け型などの製品を出しているメーカーもありますが、内部のドライブは松下製のような感じですし、PDカートリッジも現在標準価格で6000円とあまり安いとは言えません。ドライブ、メディア共に互換製品を作るメーカーが増えることによって価格が低下し普及していくものですから、もうしばらく動向を見定めることが必要な気がします。特に、MOについては今年中に3.5インチで650MBの規格が発表されようとしていますし、ハードディスクも540MBで2万円以下、1GBでも3万円以下で販売されている（秋葉原店頭価格）状況です。PDの必要とする部分はあると思いますが、まだ今年になって発表されたものですから後半年は必要と考えます。ただし、現状のXEN-PCのCD-ROM取り付け用の5インチファイルベイには、そのまま取り付けが可能です。（次回へ続く）

## (情報誌トピックス)

### ○経緯コンピュータ 9月4日号

#### 特集 メッセージ連携システム

分散処理の限界に挑戦するユーザ

→メッセージ連携システムは、従来のように構成する各アプリケーションを密に連携するのではなく、アプリケーション間にメッセージを受け渡すことによって連携するシステムであり、メッセージを管理するミドルウェアによって受け側のアプリケーションが都合のよいときに送り届けるため、それぞれの処理が束縛されない特長を持つ。これにより、特定のアプリケーションが他のアプリケーションの処理やユーザの行動を束縛せず柔軟なシステムを構築することが可能となる。

#### NCトレンド 富士通の低価格パソコン戦略

商社に徹し、利益よりもシェアを優先

苦戦を強いられるOS/2

企業ユーザにNTが普及へ

#### 広告 a p r i c o t 新製品ラインナップ (2ページ)

### ○経緯パソコン 9月11日号

#### 特集 最新ノートパソコンはこれだ

Windows 95対応、Macintoshなど32機種を徹底比較

→ノート型パソコンの性能がめざましく進歩している中で、目的にあったパソコンはどれか徹底比較

#### ・ノート型パソコン最新トレンド

性能が一段と向上、用途で選べば3タイプ

CheckPoint1 処理速度

2 液晶ディスプレイ

3 マルチメディア

4 入力装置

5 携帯性

6 プリインストールソフト

[番外編] PCカード

#### ・主要32機種を徹底比較

本誌推薦 性能と価格で選んだベスト4機種

主要な最新ノート型パソコン21機種・仕様と評価

その他の最新有力7機種・製品仕様

#### レポート パソコン通信が安くなる? 深夜帯の電話料金が定額に

→NTTのサービス「テレホーダイ」でPM11:00~AM8:00で市内なら指定電話番号2つまで1800円、近接区域なら3600円。ただし1つの電話に1契約まで

話題の P H S 実力診断、パソコンにどこまで使える

→ダイヤルはできないが、9600bpsで安定通信を確認

米国で今後登場するWindows 95対応ソフト

プロダクトウォッチ Windows版FAX通信ソフト

FAXモデムで手軽に送受信、履歴管理やOCRも便利

○日経エレクトロニクス 9月4日号

特集 次世代マルチメディアパソコン、MPUでデジタル信号処理へ

→マルチメディアの必須機能（臨場感あふれるサウンド、テレビ並みの動画表示、データと音声を送るモデム機能など）の担い手が、専用LSIからMPUに変わろうとしている

1部<技術動向>

専用LSI、DSPからPentium、P6へデジタル信号処理の担い手が変わる

2部<オーディオのソフトウェア処理>

MIDIが魅力のNative Audio、Windows 95時代の業界標準をねらう

3部<音声/データ通信のソフトウェア処理>

国際標準になるDSVD、音声圧縮技術をデータ通信に組み込む

4部<MPEG複合化ソフトウェア>

米Microsoftなどが相次ぎ採用、シノギを削る 3方式を比較

技術 標準化始まる名刺大のCPUボード

→PC/AT互換機能を名刺大に納めたボードは、FA機器などへの組込みなどのために、周辺機器とのインターフェースの標準仕様が固まった

技術 米Intelと米AMDがMPU係争で和解

→AMDは386と486のマイクロコードは使えるがPentium以降は自社開発せざるおえなくなった

○日経エレクトロニクス 9月11日号

特集 95年度発明表彰受賞者に特許出願の秘訣を聞く

→技術貿易収支（受取額/支払額）が年々改善してきている。特許使用料は0.54と輸入超過だが、特許使用料にノウハウを含めた収支では1.1と技術輸出国に転じている

1部<特許出願の分析>

特許出願件数の伸びに伴い技術貿易収支が改善

2部<インタビュー>

STN液晶や3.5インチFDなどが受賞

→11の特許について受賞者にインタビュー

特集 VGAコントローラがマルチメディア対応へ

→第3世代グラフィックコントローラは色空間変換などの機能を備えている

1 部 < 技術開発の行方 >

家庭市場攻略の決め手は 3 次元グラフィックスと M P E G の再生支援

2 部 < 3 次元グラフィックス L S I のサーベイ >

家庭用 3 次元ゲームに標準を合わせ、テクスチャマッピングや Z バッファに対応

3 部 < M P E G 対応 L S I のサーベイ >

パソコンでの M P E G 再生、ソフトとハードの処理分担が鍵

連載 ファミコン開発物語 ( 第 1 0 回 )

→ 証券情報を流す構想はなぜ失敗したか

○ 経緯 9 月号

特集 家庭用情報機器の主役争い始まる

→ 家庭用パソコンが売れているが、その他にもゲーム機などパソコンと同等の機器が色々ある。今後普及が見込まれる家庭用情報機器の分野で主役となるのはどれか

第 1 部 パソコン対抗勢力

強い低コスト要求から W i n t e l ( W i n d o w s と I n t e l C P U ) 以外を選択

第 2 部 非 W i n t e l 製品

ワンチップ R I S C と D A V I D ( O S - 9 ベースの O S ) が有望

第 3 部 今後の展望

機器形態を決めるのはマンマシンインターフェース

特別レポート 変貌し始めたパソコン通信

M S が O L E 採用を促進

→ パソコン通信は一部のマニアのものから一般ユーザに広がってきている  
アクセスソフトも W i n d o w s に対応し、更に O L E にも対応して利用環境を変えようとしている

ニュースファイル P 6 の W i n d o w s アプリ性能はせいぜい P e n t i u m と同等

→ P 6 はマルチプロセッサや C A D などの数値演算処理を必要とする分野で性能アップがなされている

○ D O S / V m a g a z i n e 9 月 1 5 日号

特集 パソ通感覚で使うインターネット

～ 確実に接続するための A t o Z ～

→ 実際にインターネットを利用するための方法を順を追って解説し、ネットサーフィンのやり方も解説

CoverStory 「インターネットを利用する前の心得」

P a r t 1 とにかくプロバイダに入会する

P a r t 2 アクセス環境の構築

P a r t 3 体験！ネットサーフィン

特集 CD-ROM制作指南

自分だけのCD-ROMを焼く

→CD-Rを中心にバックアップとしてのCD-ROMの作り方

・自家製CD-ROMのスズメ

・光ディスクの基礎知識

CD-ROM制作実技指導

CD-ROM制作のためのハードとソフト

新連載 Windows 95への道

→日本語版Windows 95発売までに使えるようになるための連載

付録 オリジナルCD-ROM

特集連動のインターネットアクセスツール、ヘルパーなど

○PCWAVE 10月号

特集 パーソナルGPSの構築

→パソコンでできるGPSシステムの状況

Part1 ここまできたパソコンGPSの必須アイテム集

→パソコンで使える地図ソフトとGPS機器

Part2 進化した「Dmapwin」で、何が可能になったか?

→NIFTYで公開されている簡易ナビゲーションソフト「Dmapwin」の現状

Part3 HP-LXとIPS-3000で構築するパーソナルGPS

Part4 DGPSの基礎理論とIPS-3000を使った実験例

Part5 日本上空で通信を絶ったGPS衛星の「謎」が語るもの

特集 テープストリーマの選び方

→容量の巨大化によってバックアップの必要性は重要になってきているが、最も大容量のバックアップ機器としてのテープドライブが注目を浴びている

Part1 バックアップメディアの問題点とテープドライブの各種規格

→4mm、8mm、QIC3.5インチ、QIC5.25インチなど

Part2 デジタルビデオ規格「DVフォーマット」の動向

Part3 各フォーマットで代表的なストリーマを使ってみる

Part4 いま入手可能なテープドライブ4機種の“素顔”

解説 世界標準のメールシステムをPHSと携帯電話で試してみる

→cc:Mail Mobileの実験

○ASCII/DOS/V 10月号

特集 最新ビデオアクセラレータ選び

いま買い替えるアクセラレータ選び

→S-VGA対応だけのものから高品質の動画再生に対応した「ビデオアクセラレータカード」に変更するためのカード選び

- ・ビデオカード選びのチェックポイント
- ・最新ビデオアクセラレータカタログ
- ・Windows & ビデオ再生ベンチマーク
- ・ソフトハードMPEGとLiveビデオ
- ・注目の新ビデオチップと技術
- ・WRAMとRAMBUS DRAM

特集 初診歓迎DOS/Vなんでもクリニック  
 すぐ役に立つQ&AとTips満載

- ・ハードウェア編
- ・DOS編
- ・Windows編
- ・トラブルシューティング編
- ・アプリケーション編
- ・サポート活用テクニック

#### ○LAN TIMES 10月号

特集 エンドユーザ主導でPC LANを導入したら・・・？

→汎用機中心できたシステム部門が、エンドユーザ主導でPC LANを導入したらを事例を通して、いかに汎用機のノウハウを生かして行くかを解説

PART1 失敗しないための作業手順の設計

PART2 導入時のトラブルを分析し、作業の最適化を図る

PART3 システム導入後の運用管理と障害対処の方法

トレンドレポート インターネットワーク新時代の到来とルーティングが果たす役割

→インターネットワーク（公衆回線をつかった広域ネットワーク）は高速技術の台頭によって変貌を告げているが、その中でルーティングはどのような意味を持ち活用していくべきかをレポート

PRODUCT REVIEWS 用途により十分な通信速度を発揮する低価格無線LANシステム

→NetWareでも使える関西電機のシステムでアダプタはDOS/V用84, 800、PCカード99, 800、通信速度は有線の1/7程度